パソコン短縮設定用プログラム（2F） Ver.1.1.0.X

■ 取扱説明書 ■

利用規約

本規約に同意戴いた場合のみダウンロード及び使用して戴くことができます。

1．著作権

パソコン短縮設定用プログラム（2F）〔以下本プログラムという〕の著作権は、株式会社日立コミュニケーションテクノロジー及び株式会社ナカヨ通信機にある。

本規約の定めによるもの以外、本プログラムのどの部分も、当社からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはならない。

2．使用範囲

本プログラムの使用は電話帳データ設定に限る。

3．複製の制限

使用にあたっての登録会社内にて、当社の製品の据付・メンテナンスの目的で使用する範囲で、複製を作成してもよい。

4．制限事項

他者に本プログラムの複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本プログラムを電送してはならない。本プログラムは企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本プログラムを逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本プログラムやその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、賃借、貸与、利益のための再販売、配布、ネットワーク接続し、或いは本プログラムやその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

5．本プログラムの所有権

使用にあたっての登録会社はプログラムが記録或いは固定された媒体を所有するが、オリジナルの媒体に記録された本プログラム、並びにその後作成される本プログラムのすべての複製に対する権利及び所有権は、当該オリジナル及び複製が存在する形態や媒体に拘らず、当社が保持する。

6．機密保持

使用にあたっての登録会社は、本プログラムの機密性を保持し、当社の事前の書面による明示的同意無しに、本プログラムをいかなる第三者にも開示しないこと。更に、登録していない人物に本プログラムに対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講じること。

7．個人情報の管理、保護

本プログラムを使用して確認出来る個人情報（お客様の電話帳データ等）は、使用を目的とする特約店様、販売店様がお客様に承諾を得た上で管理、利用すること。また、個人情報を管理する特約店様、販売店様については、個人情報の漏洩、改ざん等の危険にさらされない様に取扱権限者の明確化等の組織的な対応、更に悪意をもった人物の不正なアクセスを阻止するためにあらゆる合理的なセキュリティを確保すること。

【個人情報管理、保護に対するお客様へのご説明内容】

①使用目的：本プログラムを使用することにより、工事／保守時間の短縮を図ることを目的とする。

②お客様の主装置へのアクセスについては、販売店が教育した特定の保守者が実施する。

③お客様の短縮ダイヤル情報は事前の書面による明示的同意なしに、いかなる第三者にも開示しない。

8．賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、或いはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

9．輸出

本プログラムまたは関連文献をいかなる形態においても輸出または再輸出しないこと。

《お願い》必ず最新版のプログラムと取扱説明書をお使いください。

—— 目次 ——

■第1部《概要編》

1. はじめに(必ずお読みください) …… 1-1

1－1　本プログラムの概要 …… 1-1

1－2　パソコン側の条件 …… 1-2

1－3　接続方法 …… 1-2

1－4　本プログラムの新規インストール …… 1-3

1－5　本プログラムのバージョンアップ …… 1-3

1－6　本プログラムのアンインストール …… 1-4

1－7　既設品の主装置の電話帳データ(短縮データ)を変更するときの注意事項 …… 1-5

1－8　Q&A集 …… 1-5

■第2部《電話帳データ設定編》

1. 本プログラムの操作の流れ …… 2-1

2. プログラムの起動 …… 2-2

3. 電話帳データの読込 …… 2-3

4. 電話帳データの編集 …… 2-5

●CSVファイルを利用するには …… 2-10

5. 電話帳データの書込～プログラムの終了 …… 2-11

※本説明書内の画面は一例です。 プログラムの種類やバージョン、パソコン側の環境によって異なる場合があります。 また、内容的に違いがない場合は、Windows® XPの画面で記載しています。

●Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
●Windows® XPはMicrosoft® Windows® XP operating systemの略です。
●Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
●その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

■　第1部《概要編》

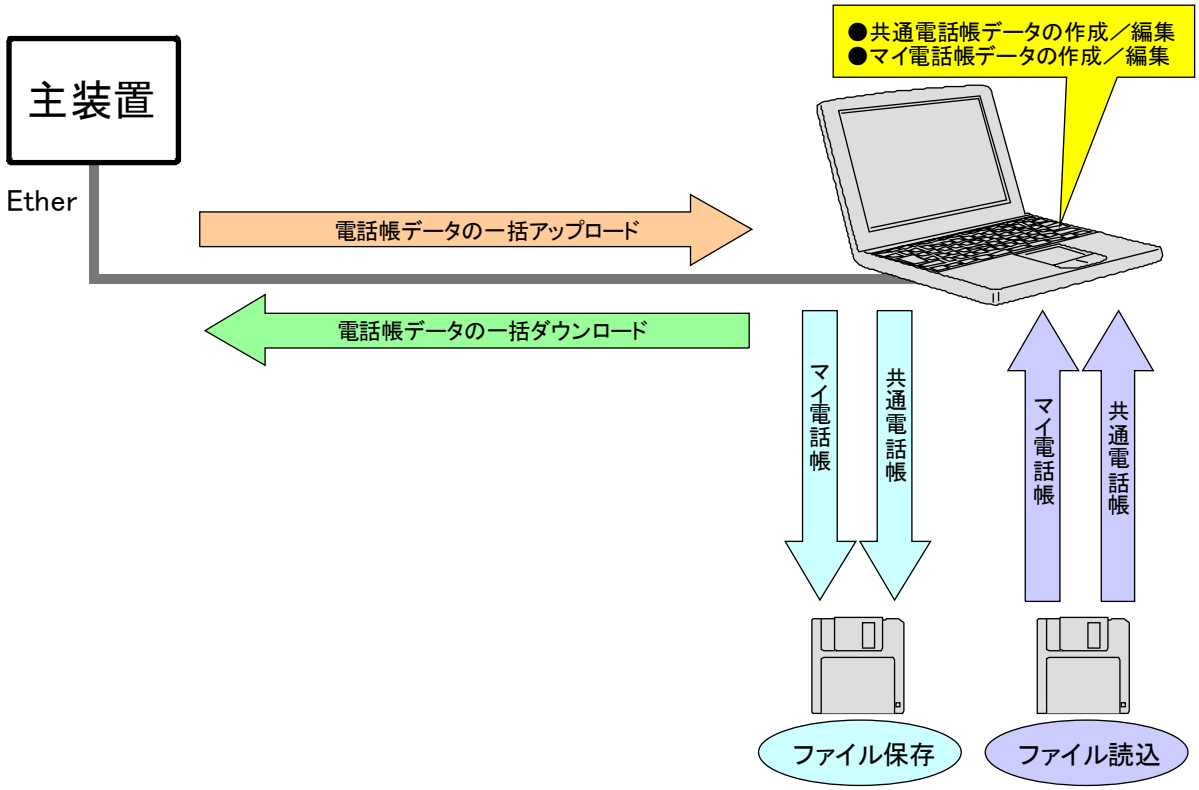
1. はじめに（必ずお読みください）

1－1　本プログラムの概要

本プログラムは以下のことができます。

●電話帳データの読込…主装置の電話帳データ（短縮データ）をパソコンにアップロードする 共通電話帳、マイ電話帳のアップロードは一括で行います。 **新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に実行してください。**
●電話帳データの編集…パソコン上で共通電話帳データ・マイ電話帳データを作成/変更する ＊ 作成内容のファイル保存やファイルからの読込も可能です。
●電話帳データの書込…パソコン上の電話帳データ（短縮データ）を主装置にダウンロードする 共通電話帳、マイ電話帳のダウンロードは一括で行います。

＊：パソコン単独でも電話帳データの作成、ファイル保存、ファイルからの読込が可能です。（事前に設定ファイルを作成するときなど）



●市販のUSBメモリを利用して、下記のことができます。 USBメモリを利用したデータ保存／データ読込については、「工事・保守マニュアル（2. データ設定マニュアル編）」を参照してください。

（1）主装置から直接USBメモリに保存した電話帳データを、本プログラムで読み込んで編集することができます。（現地ではパソコン不要）

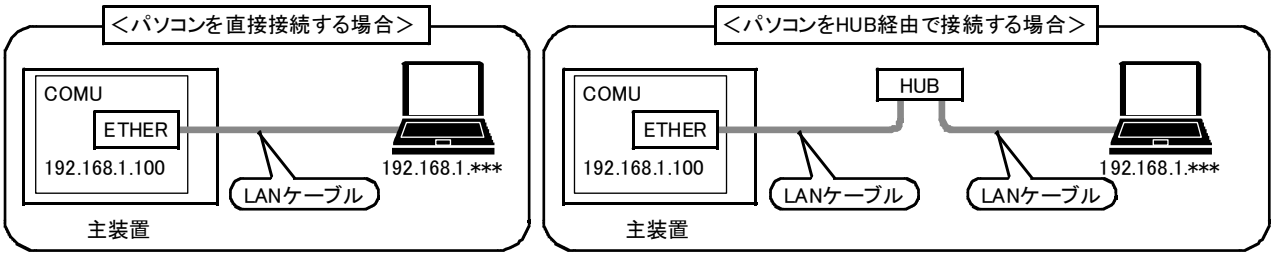
（2）本プログラムで作成した電話帳データをUSBメモリに保存し、保存したデータを主装置で直接読み込むことができます。（現地ではパソコン不要）

1－2　パソコン側の条件

（1）パソコン：DOS/V（PC-AT互換機）
（2）OS：Windows® 2000 日本語版、Windows® XP Home Edition 日本語版、Windows® XP Professional 日本語版
（3）CPU：Intel® Celeron™ 500MHz相当以上（Windows® 2000）／ Intel® Celeron™ 1GHz相当以上（Windows® XP）
（4）必要メモリ容量：256MB以上
（5）ハードディスク容量：100MB以上（セットアップ時）
（6）画面サイズ：1024×768ピクセル以上
（7）必要なハードウェア：Etherポート

1－3　接続方法

下図のように主装置にパソコンを接続します。
※LANケーブルは主装置のコネクタ接続面にある「LAN」コネクタに接続します。
※LANケーブルはストレートケーブル、クロスケーブル何れも使用可能です。



ご注意

●主装置のIPアドレスの初期値は「192.168.1.100」になっています。 主装置をLAN環境に接続する場合は、データ設定により環境に合わせてIPアドレス変更してください。
⇒詳細は、「工事・保守マニュアル（2. データ設定マニュアル編）」のコマンド＊9400を参照
●使用するパソコンの条件…LANカード/LANボード装着済、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPがインストール済、ブラウザ：「Internet Explorer 6.0」以上
●使用するパソコンのIPアドレスを主装置のIPアドレスと同じセグメントに変更してください。
例：主装置が「192.168.1.100」の場合は「192.168.1.***」を設定します（3オクテットまで同一にする）。
●使用するパソコンの「ファイアウォール」の設定は行わないでください。正常にアップロード、ダウンロードできなくなります。（Windows® XPのみ）
①[コントロール パネル(C)]から[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、『ネットワークとインターネット接続 画面』の[ネットワーク接続]をクリックする（カテゴリ表示の場合）
[コントロール パネル(C)]から[ネットワーク接続]をダブルクリックする（クラシック表示の場合）
②『ネットワーク接続 画面』の[ローカル エリア接続]を右クリックし、[プロパティ(R)]をクリックする
③『ローカル エリア接続のプロパティ 画面』の[詳細設定]タブをクリックする
④ 設定(E) をクリックすると『Windows ファイアウォール 画面』となるので、「無効（推奨されません）(F)」を選択し、OK をクリックする（Windows® XP SP2の場合）
「インターネット接続ファイアウォール」のチェックを外し OK をクリックする（Windows® XP SP2より古い場合）
◆Windows® XP SP2でカテゴリ表示の場合は、下記の操作も可能です。
①[コントロール パネル(C)]から[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、『ネットワークとインターネット接続 画面』の[Windows ファイアウォール]をクリックする（カテゴリ表示の場合）
②『Windows ファイアウォール 画面』で「無効（推奨されません）(F)」を選択し、 OK をクリックする
●「Internet Explorer」は下記の設定を行ってください。
①[ツール(T)]メニューから[インターネット オプション(O)]をクリックする
②『インターネット オプション 画面』の[全般]タブにある「インターネット一時ファイル」の 設定(S) をクリックする
③『設定 画面』の「保存しているページの新しいバージョンの確認：」の下の「ページを表示するごとに確認する(E)」を選択し、OK をクリックする
④『インターネット オプション 画面』の[接続]タブにある LANの設定(L) をクリックする
⑤『ローカル エリア ネットワーク(LAN)の設定 画面』の「プロキシ サーバー」の下の「ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない(B)」をチェックし、 OK をクリックする
または、「LANにプロキシ サーバーを使用する」はチェックを入れずに、 OK をクリックする（通常はプロキシサーバーを使用しているLANに接続しないパソコンの場合）
⑥『インターネット オプション』画面の OK をクリックする
●本プログラムを使用するときは、他のアプリケーションプログラムを終了してください。 パソコンのシステムリソースが不足して詳細設定画面（Web画面）が開けなくなる場合があります。「メモリー不足ため、サーバが起動しませんでした。」のエラー画面が出たときは、パソコンを再起動してから本プログラムを起動してください。

1－4　本プログラムの新規インストール

初めて本プログラムをインストールする手順は下記のとおりです。

①ダウンロードしたファイルを実行します。
②以降、画面の指示に従ってください。

●標準インストール先
「C:￥Program　Files￥2F_SPD1」フォルダ

●プログラム名
「SPDPA-2F.exe」

※本プログラムをインストールすると、デスクトップに本プログラムのショートカットが作成されます。

●本プログラムのバージョン確認方法
エクスプローラ等で、上記インストール先のフォルダにある本プログラムのファイルを右クリックし、プロパティでバージョン情報を確認してください。
※本プログラム起動後の『メイン画面』でもバージョンが表示されます。

★Windows® 2000、Windows® XPのパソコンへのインストールは、管理者の権限で行う必要があります。
他のユーザでログインしてインストールを行った場合、本プログラムが正常に動作しません。

1－5　本プログラムのバージョンアップ

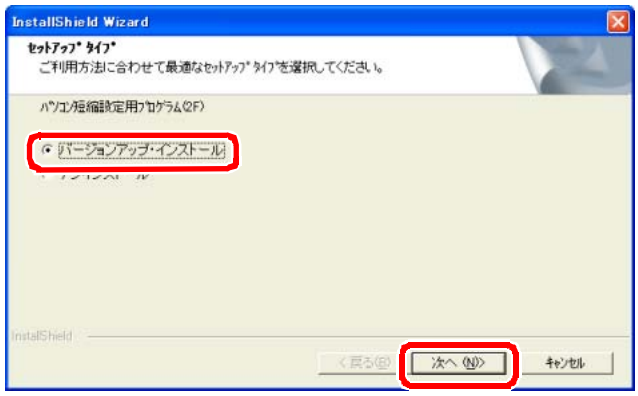
以前、本プログラムを使用していて、最新版にバージョンアップする手順は下記のとおりです。

①ダウンロードしたファイルを実行します。

②しばらくすると『セットアップタイプ　画面』となります。
「バージョンアップ・インストール」を選択し、次へ(N)>をクリックしてください。

③以降、画面の指示に従ってください。

※インストール先、プログラム名は古いバージョンと同じです。



1－6　本プログラムのアンインストール

本プログラムをパソコンから削除する場合は、下記の手順で行います。

■Windows® XP の場合

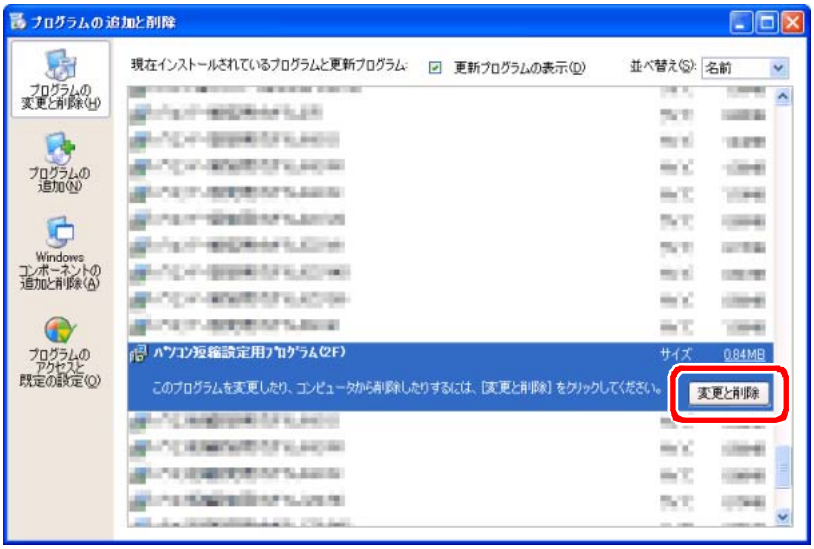
①[マイコンピュータ]⇒[コントロールパネル]⇒[プログラムの追加と削除]を選択します。

②「ﾊﾟｿｺﾝ短縮設定用ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(2F)」を選択し、 変更と削除 をクリックします。

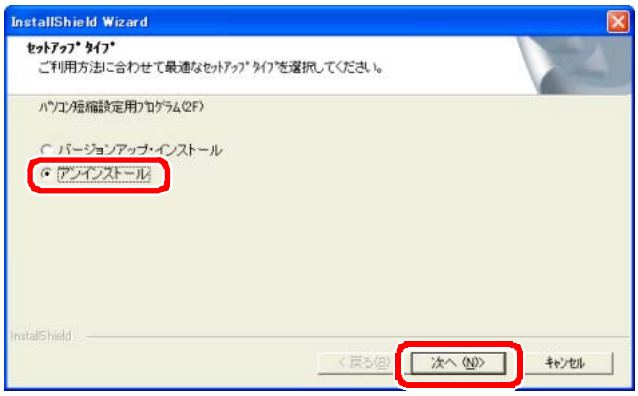
■Windows® 2000 の場合

①[マイコンピュータ]⇒[コントロールパネル]⇒[アプリケーションの追加と削除]を選択します。

②「ﾊﾟｿｺﾝ短縮設定用ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(2F)」を選択し、 変更と削除(C) をクリックします。



③しばらくすると『セットアップタイプ 画面』となります。
「アンインストール」を選択し、次へ(N)> をクリックしてください。



④以降、画面の指示に従ってください。

1－7　既設品の主装置の電話帳データ(短縮データ)を変更するときの注意事項

既に電話帳データが設定済の主装置に対して電話帳データを変更するときは、下記に注意してください。

ご注意

★電話帳データ設定済の主装置に対して、本アプリケーションで新規に作成またはファイルから読み込んだ電話帳データを主装置にダウンロードすると、パソコン側で設定したデータに置き換わります。
電話帳データ設定済の主装置のデータを変更するときは、下記の手順で行うようにしてください。

〈既設品の主装置の電話帳データ変更手順〉

①「電話帳データの読込」を行う。

②本アプリケーションを終了しないで、データを変更する。 必要に応じてファイルの保存を行ってください。
★ファイルの読み込みは行わないでください。

③「電話帳データの書込」を行う。

※一部の電話帳データをパソコンで変更する場合は、Web設定(「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」の「12. Web設定について」参照)を利用することもできます。 本アプリケーションは不要です。

1－8　Q&A集

No.	質　　問	回　　答
1	PCアプリでアップロードまたは、ダウンロードを行うと、「コネクト失敗」のメッセージが表示される。	● ＊9403の設定が「ポートクローズ」になっていませんか。(「ポートオープン」に変更してください。初期は「ポートオープン」になっています。) ● パソコンのIPアドレスは、主装置のIPアドレスと同一のセグメント内にありますか。(同一セグメントにしてください) ● パソコンセキュリティソフト(例:ウイルスバスター等)が常駐していませんか。(ソフトを停止して実行してください) ● パソコンの「ファイアウォール」(Windows® XPのみ)が有効になっていませんか。(無効にしてください)
2	PCアプリで「電話帳データの読込」を選択すると「受信データの読み込みに失敗しました」とエラーメッセージが出てアップロードできない。 また、「電話帳データの編集」→「詳細設定」を選択すると、「メモリ不足のため、サーバが起動できませんでした。」とエラーメッセージが表示され、設定画面も見ることができない。	● パソコンのメモリが不足しています。パソコンのメモリを増設してください。
3	PCアプリを使用して、主装置に電話帳データの書込ができない。 ダウンロード中画面が表示された後、0%の状態で「コネクト失敗」メッセージが出る。これを何回か繰り返すと、登録OKになる場合がある。	● パソコンのLANドライバが古くありませんか。(最新のドライバに更新して、再度実施してください)
4	Internet Explorerの電話帳入力画面にある“登録”ボタンを押した後に、入力データが画面に反映されない。	● Internet Explorerの“インターネット一時ファイル”→“設定”→“保存しているページの新しいバージョンの確認”の設定が“ページを表示するごとに確認する”になっていますか。(設定を変更してください)

■　第2部《電話帳データ設定編》

1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。（参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。）

[1]事前に電話帳データを作成する場合

①プログラム起動 ⇒P2-2参照
②PCでの設定、ファイル保存 ⇒P2-5参照
- ●共通電話帳ファイル
- ●マイ電話帳ファイル

[2]新規に電話帳データを設定する場合（事前作成ファイルなし）

①主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
②プログラム起動 ⇒P2-2参照
③PCでの設定、ファイル保存 ⇒P2-5参照
- ●共通電話帳ファイル
- ●マイ電話帳ファイル

④「電話帳データの書込」を実行 ⇒P2-11参照

[3]新規に電話帳データを設定する場合（事前作成ファイルあり）

①主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
②プログラム起動 ⇒P2-2参照
③ファイル読込 ⇒P2-5参照
- ●共通電話帳ファイル
- ●マイ電話帳ファイル

④「電話帳データの書込」を実行 ⇒P2-11参照

※事前作成の内容で変更が必要な場合は、③の後でPCでの設定変更、ファイル保存を行ってください。

[4]主装置の電話帳データをパソコンで読み込み、保存しておく場合

①主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
②プログラム起動 ⇒P2-2参照
③「電話帳データの読込」を実行 ⇒P2-3参照
④ファイル保存 ⇒P2-5参照
- ●共通電話帳ファイル
- ●マイ電話帳ファイル

[5]主装置の電話帳データを変更する場合

①主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
②プログラム起動 ⇒P2-2参照
③「電話帳データの読込」を実行 ⇒P2-3参照
★必ず実行してください。
④PCでの変更*1、ファイル保存 ⇒P2-5参照
- ●共通電話帳ファイル
- ●マイ電話帳ファイル

⑤「電話帳データの書込」を実行 ⇒P2-11参照

*1：主装置から読み込んだ電話帳データを変更します。

2. プログラムの起動

1 **本プログラムを起動すると『メイン画面』が表示される。**

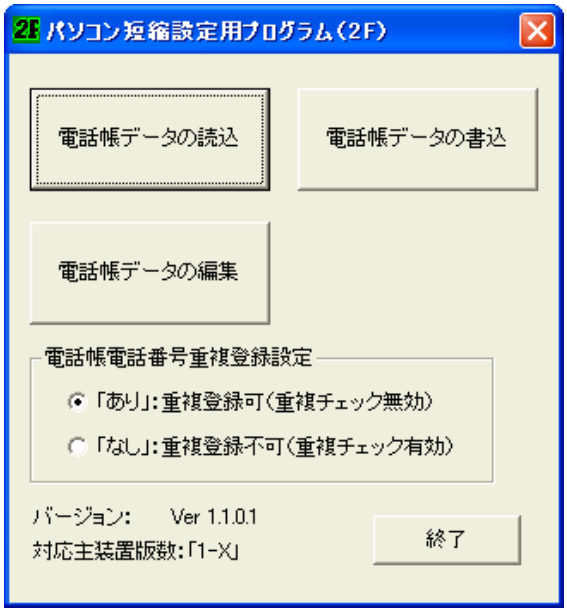
●各ボタンの説明

電話帳データの読込 …主装置に接続して、主装置内の電話帳データを読み込みます。(アップロード)

電話帳データの編集 …電話帳データの作成／変更、ファイル読込、ファイル保存を行います。

電話帳データの書込 …パソコンで作成／変更した電話帳データを主装置に書き込みます。(ダウンロード)

電話帳電話番号重複登録設定 …電話帳登録のとき、同じ電話番号の重複登録の可否を選択します。
・「あり」: 同じ電話番号の登録も可能です。
・「なし」: 同じ電話番号を入力して 登録 をクリックすると、エラー画面が表示され登録できません。 電話番号を修正し、登録操作をやり直してください。 **修正しないで設定を終了したり別の画面に移動すると、重複した電話番号は最若番の短縮番号を除いてクリアされ、漢字名称・カナ名称・グループのみ登録されます。**



※以降の説明は、パソコンを主装置に接続して主装置側の電話帳データの読み込みや、パソコンから主装置に電話帳データを書き込む場合を説明しています。
パソコンで事前に電話帳データの作成／編集のみを行う場合は、「3. 電話帳データの読込」は省略します。

3. 電話帳データの読込

主装置側の電話帳データをパソコンで読み込みます。

※共通電話帳およびマイ電話帳は一括で読み込みます。

●事前確認　（工事・保守マニュアルを参照してください。）

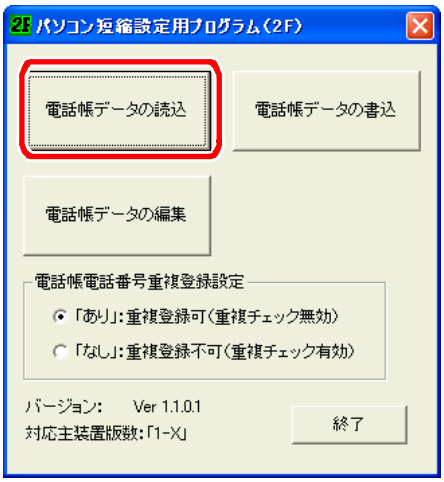
（1）主装置とパソコンは接続されているか？

（2）主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープン（初期値）になっているか？（＊9403）

（3）主装置のIPアドレス（＊9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF／ONを行ったか？

1

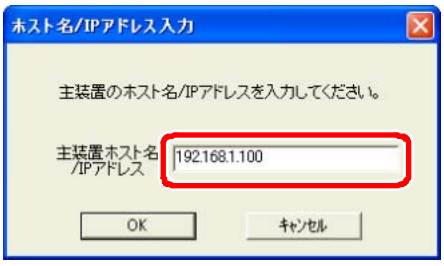
本プログラムを起動したら、『メイン画面』で 電話帳データの読込 をクリックする。



2

『メイン画面』で 電話帳データの読込 をクリックすると、『ホスト名/IPアドレス入力画面』となる。
接続されている主装置のIPアドレスを入力して OK をクリックする。
IPアドレスの入力は、「192. 168. 1. 100」のようにドットを付けて入力してください。

※初期値は192. 168. 1. 100です。

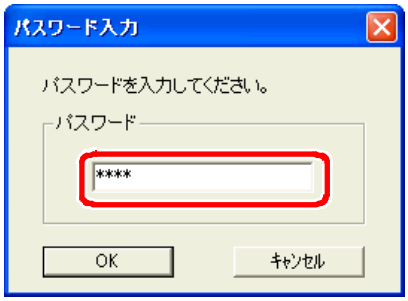


3

『パスワード入力画面』となるので、主装置側のコマンド＊000に設定されているパスワード4桁を入力し、OK をクリックする。

※パスワードは半角数字を使用します。

※初期設定は0000です。



4

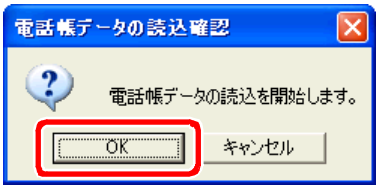
『電話帳データの読込確認画面』となるので、読込（アップロード）を開始してよい場合は、 OK をクリックする。

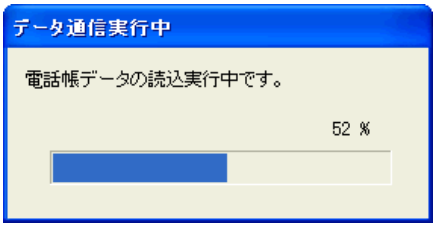
★中断できないので注意してください。

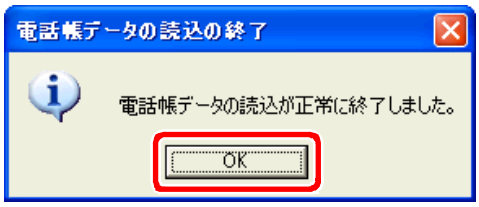
※ キャンセル をクリックすると、『メイン画面』に戻ります。

※読込を開始すると、『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータに読込の進行状況が表示されます。

読込が完了すると『電話帳データの読込の終了画面』が表示されるので、 OK をクリックする。

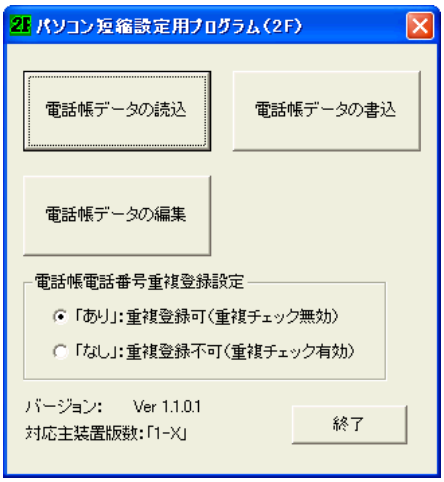






5

『メイン画面』に戻る。



ご注意

★アップロード中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。 通信エラーとなることがあります。（特に、「デフラグ（ディスクの最適化）」は絶対に行わないでください。 デフラグ中にアップロードしたデータを主装置にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。）

★アップロード中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。 通信エラーとなった場合は、アップロードをやり直してください。 また、電話機側で電話帳の登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

●エラーとなった場合は…

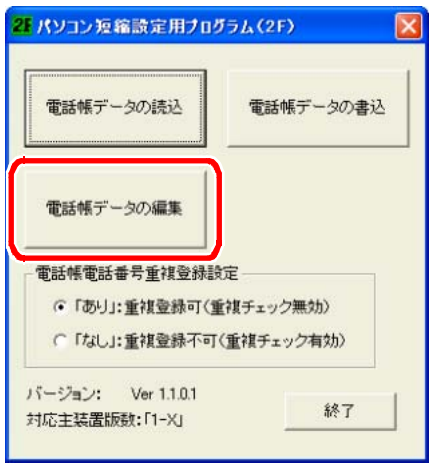
エラー画面（「ポートステータスチェックエラー発生」や「受信タイムアウトエラー発生」）の OK をクリックし、『メイン画面』（P2-3参照）まで戻ってからアップロードをやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。 他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

4. 電話帳データの編集

パソコンで電話帳データの作成／編集、ファイル読込、ファイル保存を行います。

1 『メイン画面』で **電話帳データの編集** をクリックする。



2 『メニュー選択画面』となる。

●各ボタンの説明

ファイルデータ読込 … 事前設定またはバックアップした電話帳データの設定ファイルを読み込みます。

ファイルデータ保存 … パソコン上にある電話帳データをファイル保存します。
⇒P2－8参照

詳細設定 … パソコン上で電話帳データの作成や変更を行います。

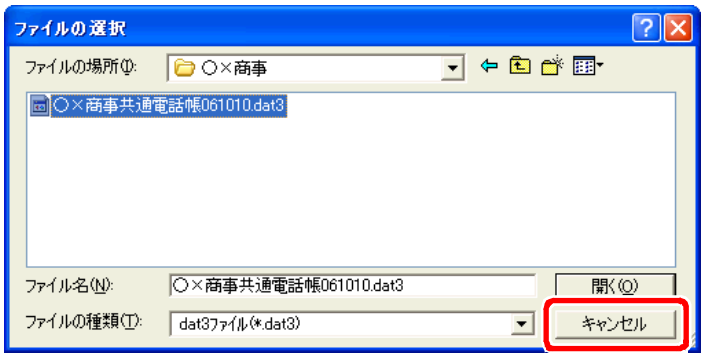
戻る … 『メイン画面』に戻ります。

●作成済の電話帳データファイルを修正するときは、下記の手順で「ファイルデータ読込」を行ってください。

①『メニュー選択画面』で **ファイルデータ読込** をクリックする。

②『ファイル選択画面』で読み込むファイルの種類を選択する。

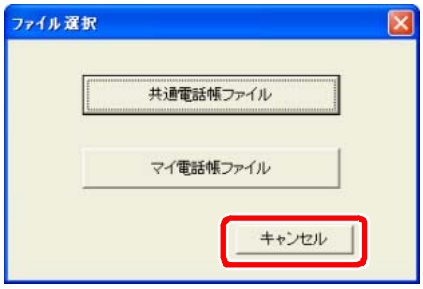
③読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックする。



★データの種類毎に拡張子が異なります。
●共通電話帳ファイル：dat3　●マイ電話帳ファイル：dat4

④『ファイル選択画面』に戻る。

キャンセル をクリックすると、『メニュー選択画面』に戻ります。

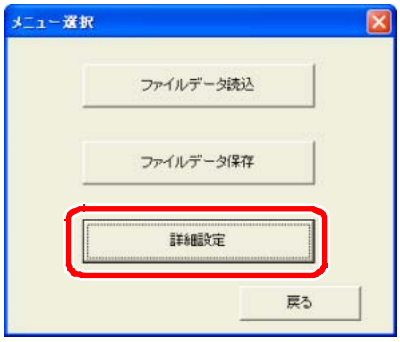


★主装置から読み込んだ電話帳データを変更する場合は、ファイルを開かないでください。

※共通電話帳ファイルはiA「 」シリーズ用のファイル(拡張子：iadat)およびCSVファイル(拡張子：csv)の読込、マイ電話帳ファイルはiA「 」シリーズ用のファイル(拡張子：iadat)の読込も可能です。「ファイルの種類(T)」にて「iadatファイル(*.iadat)」または「csvファイル(*.csv)」を選択してください。
CSVファイルに関しては、P2-10も参照してください。

3

『メニュー選択画面』で **詳細設定** をクリックする。



4

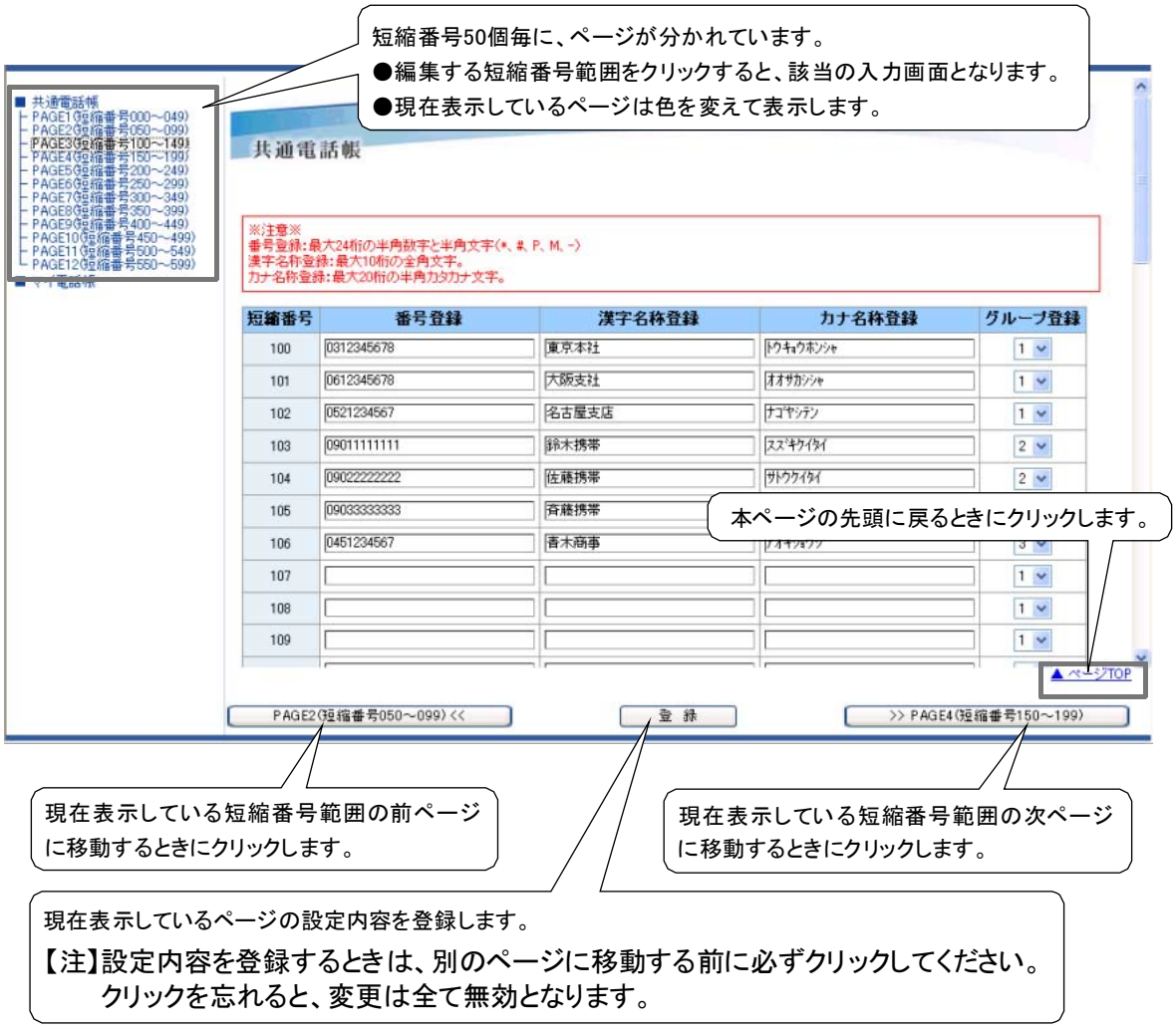
「Internet Explorer」が起動され、設定用のWeb画面が表示されるので、「共通電話帳」の設定を行う。
「■共通電話帳」欄の編集する短縮番号のページ(PAGE)を選択し、各項目の入力・変更等を行う。
表示しているページの入力・変更等が完了したら、画面一番下の 登録 をクリックする。

- 現在の設定内容(アップロードしたときは主装置側の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。

■各項目の入力文字数等の制限は下記のとおりです。

- **●番号登録**: 電話番号を入力します。半角数字または記号(*、#、P、M、-)24文字まで
- **●漢字名称登録**: 相手名称を入力します。全角10文字(半角20文字)まで
- **●カナ名称登録**: ヨミガナを入力します。 半角20文字まで
- **●グループ登録**: 短縮のグループ番号1～7を選択します。(プルダウン表示される候補を選択、直接入力も可能)

※[Tab]キーで各入力項目の移動が可能です。



5

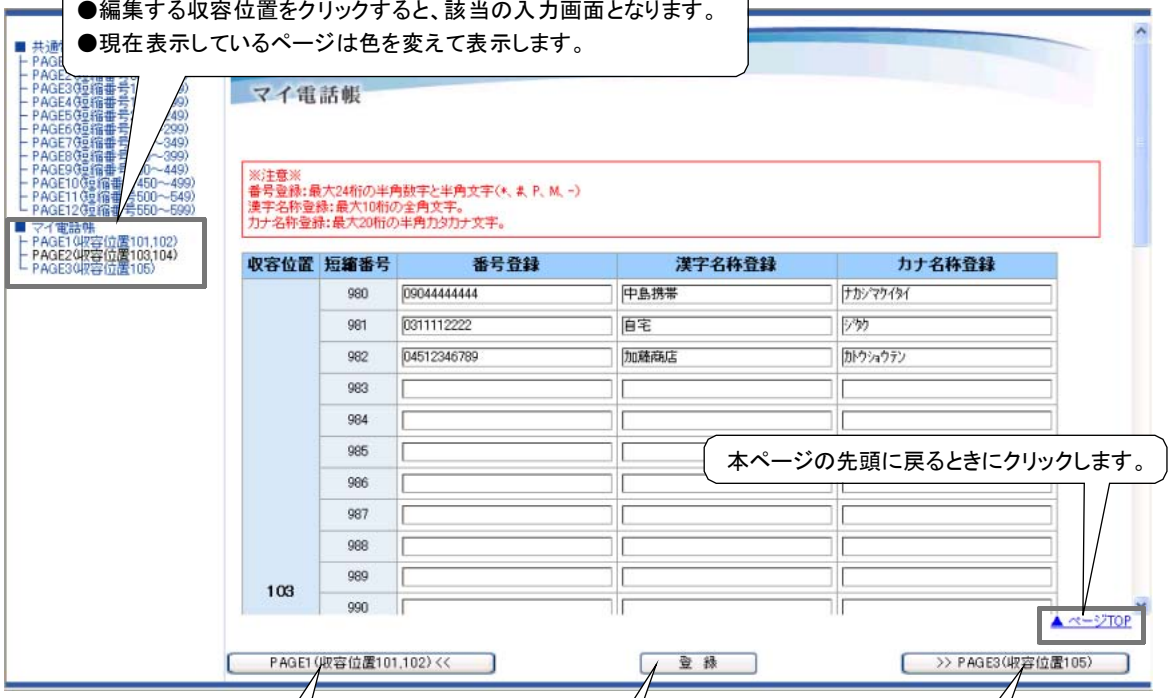
引き続き、「マイ電話帳」の設定を行う。（必要時）
画面左側の「■マイ電話帳」をクリックすると、ページリストが表示される。
編集する収容位置のページ（PAGE）を選択し、各項目の入力・変更等を行う。
表示しているページの入力・変更等が完了したら、画面一番下の 登録 をクリックする。

- 現在の設定内容（アップロードしたときは主装置側の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容）が表示されます。

■各項目の入力文字数等の制限は下記のとおりです。

- **●番号登録**：電話番号を入力します。半角数字または記号（*、#、P、M、−）24文字まで
- **●漢字名称登録**：相手名称を入力します。全角10文字（半角20文字）まで
- **●カナ名称登録**：ヨミガナを入力します。 半角20文字まで

※[Tab]キーで各入力項目の移動が可能です。

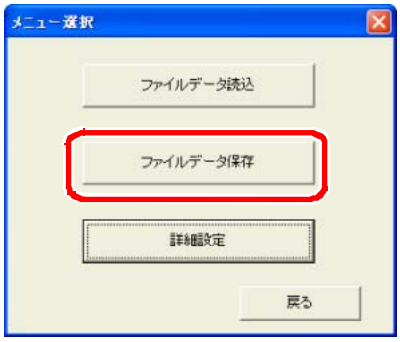


6

全ての設定が終了したら「Internet Explorer」を終了する
※「Internet Explorer」を閉じても設定内容は、消えません。

7

『メニュー選択画面』で **ファイルデータ保存** をクリックする。



8

『ファイル選択画面』で読み込むファイルの種類を選択する。

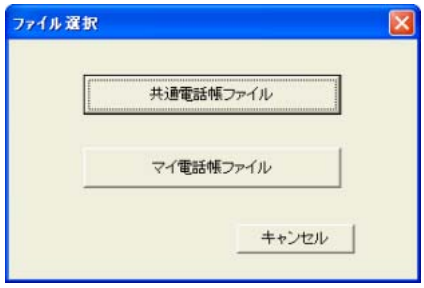
●各ボタンの説明

共通電話帳ファイル … Web画面で設定した共通電話帳の設定内容をファイル保存します。

★保存に必要な容量：約50kB

マイ電話帳ファイル … Web画面で設定したマイ電話帳の設定内容をファイル保存します。

★保存に必要な容量：約10kB



9

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にある電話帳データがファイル保存されます。

※お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

★データの種類毎に拡張子が異なります。

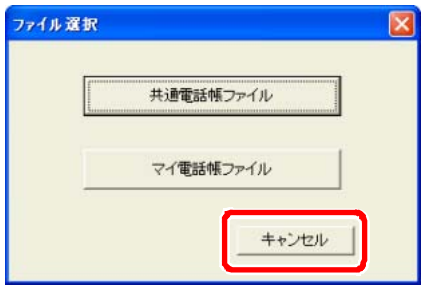
- **共通電話帳ファイル：dat3**
- **マイ電話帳ファイル：dat4**

※共通電話帳ファイルはiA「 」シリーズ用のファイル（拡張子：iadat）およびCSVファイル（拡張子：csv）で保存、マイ電話帳ファイルはiA「 」シリーズ用のファイル（拡張子：iadat）で保存することも可能です。「ファイルの種類(T)」にて「iadatファイル(*.iadat)」または「csvファイル(*.csv)」を選択してください。CSVファイルに関しては、P2-10も参照してください。

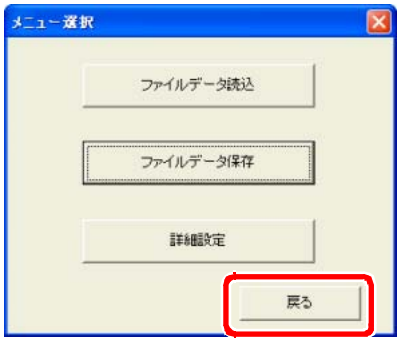
10

『ファイル選択画面』に戻る。

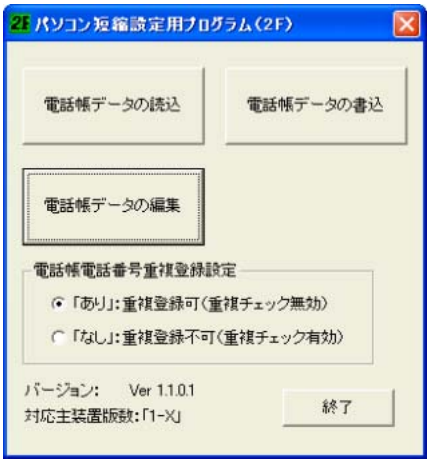
ファイル保存を終了するときは、 **キャンセル** をクリックする。



11 『メニュー選択画面』で 戻る をクリックする。



12 『メイン画面』に戻る。



●CSVファイルを利用するには

（1）ファイルの作成方法

EXCEL等で作成した電話番号一覧を利用することができます。（共通電話帳のみ可能）
※EXCEL等の使用方法は各アプリケーションの説明書等を参照してください。

下記手順で電話番号一覧を作成／編集してください。

①下記に示すフォーマットで電話番号一覧を作成／編集する。
（全てのセルの書式を「文字列」に設定してから作成／編集してください。）

必ず000から入力 ⟶

	A	B	C	D	E	F
1	短縮番号	電話番号	カナ名称	漢字名称	グループ番号	
2	000	0312345678	ﾄｳｷｮｳﾎﾝｼｬ	東京本社	1	
3	001	0612345678	ｵｵｻｶｼｼｬ	大坂支社	1	
4	002	0521234567	ﾅｺﾞﾔｼﾃﾝ	名古屋支店	1	
5	003	09011111111	ｽｽﾞｷｹｲﾀｲ	鈴木携帯	2	
6	004	09022222222	ｻｲﾄｳｹｲﾀｲ	斉藤携帯	2	
7	005	09033333333	ｻﾄｳｹｲﾀｲ	佐藤携帯	2	
8	006	0451234567	ｱｵｷｼｮｳｼﾞ	青木商事	3	
9	007	0451235678	ｻｻｷｺｳｷﾞｮｳ	佐々木工業	3	
10	008	09044444444	ﾅｶｼﾞﾏｹｲﾀｲ	中島携帯	2	
11	009	04512346789	ｶﾄｳｼｮｳﾃﾝ	加藤商店	3	

●1行目：短縮番号、電話番号、カナ名称、漢字名称、グループ番号の文字（全て全角）を上記の順番通りに入力します。

●短縮番号：000からの連番を半角数字で入力します。
データを入力した行は、必ず入力してください。 全ての短縮番号を入力する必要はありません。（先頭の000は必須）

●電話番号：電話番号を入力します。 半角数字24文字まで。

●カナ名称：電話帳検索で使用するカナ名称を**スペースを入れずに**入力します。 半角20文字まで。

●漢字名称：相手名称を**スペースを入れずに**入力します。 全角10文字（半角20文字）まで。

●グループ番号：短縮のグループ番号1～7を半角数字で入力します。

★カナ名称・漢字名称に半角の「″」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「，」は使用しないでください。 また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください（住所データ等）。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。 既に作成済の電話番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目にて指定文字数を超えている場合、超えている部分は本プログラムで取得することはできませんので注意してください。

②作成／編集が済んだら、CSV形式で保存する。

※CSV形式の他、EXCEL等の通常の型式でもファイル保存することをお勧めします。
CSV形式のファイルをEXCELで読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、後日編集作業を行う場合は通常の型式で保存したファイルを利用した方が便利です。

（2）本プログラムで保存したCSVファイルの読込方法

EXCELでCSVファイルを直接読み込むと、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、下記操作を行ってください。（一旦、txtファイルに変更します。）

①エクスプローラ等で、読み込みたいCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。

②EXCELで拡張子を「txt」に変更したファイルを開く。（必ず、EXCELの操作でファイルを開いてください。）

③画面の指示に従って、操作する。

●元のデータの形式：**「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」**を選択します。
●区切り文字：**「カンマ」**を選択します。
●列のデータ形式：全てのデータ項目を**「文字列」**にします。

④ 完了(F) をクリックし、ファイルが開けたら上記（1）に従って編集作業を行う。

★編集を行う前に、1行目（12桁の数字が記載されている行）は必ず削除してください。上記（1）の①に示すフォーマットでないと、本プログラムでCSVファイルを読み込むことができません。

5. 電話帳データの書込～プログラムの終了

パソコン側の電話帳データを主装置に書き込みます。

※共通電話帳およびマイ電話帳は一括で書き込みます。

●事前確認　（工事・保守マニュアルを参照してください。）

（1）主装置とパソコンは接続されているか？

（2）主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープン（初期値）になっているか？（＊9403）

（3）主装置のIPアドレス（＊9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF／ONを行ったか？

1

『メイン画面』で 電話帳データの書込 をクリックする。

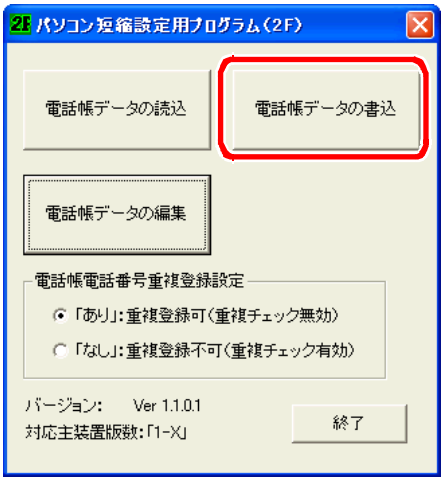
★電話帳データ設定済の主装置に対して、本アプリケーションで新規に作成またはファイルから読み込んだ電話帳データを主装置に書き込むと、パソコン側で設定したデータに置き換わります。必ず「電話帳データの読込」を先に行ってください。

①「電話帳データの読込」 ⇒P2-3参照

②「ファイルデータ読込」は行わずに主装置から読み込んだ電話帳データを修正する。 ⇒P2-5参照

※ファイルを読み込むと、主装置から読み込んだ電話帳データが読み込んだファイルのデータに置き換えられます。

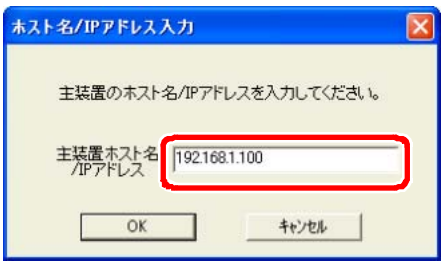
③「電話帳データの書込」の実行



2

『メイン画面』で 電話帳データの書込 をクリックすると、『ホスト名/IPアドレス入力画面』となる。
接続されている主装置のIPアドレスを入力して OK をクリックする。
IPアドレスの入力は、「192．168．1．100」のようにドットを付けて入力してください。

※初期値は192．168．1．100です。

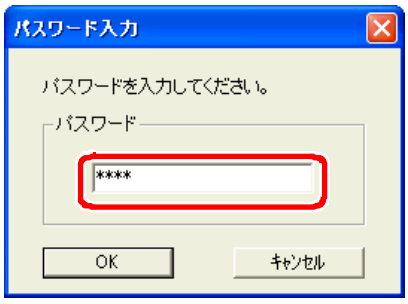


3

『パスワード入力画面』となるので、主装置側のコマンド＊000に設定されているパスワード4桁を入力し、OK をクリックする。

※パスワードは半角数字を使用します。

※初期設定は0000です。



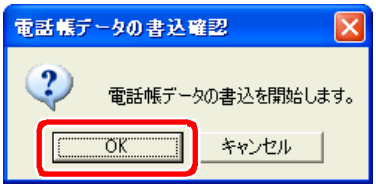
4

『電話帳データの書込確認画面』となるので、書込(ダウンロード)を開始してよい場合は、 OK をクリックする。

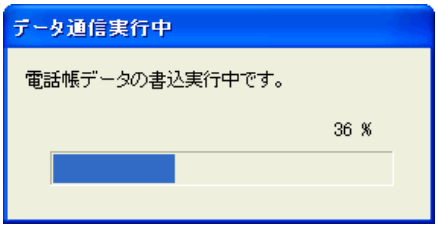
★中断できないので注意してください。

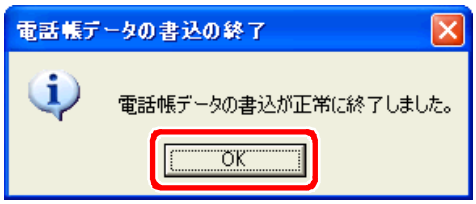
※ キャンセル をクリックすると、『メイン画面』に戻ります。

※書込を開始すると、『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータに書込の進行状況が表示されます。



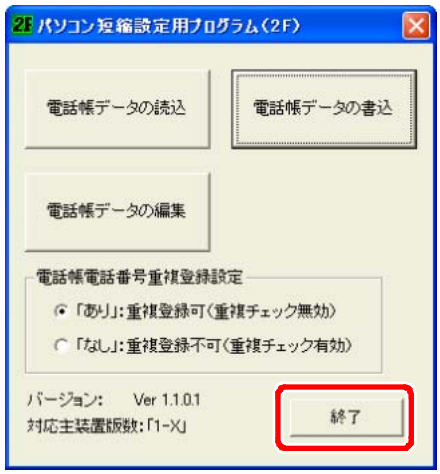
書込が完了すると『電話帳データの書込の終了画面』が表示されるので、 OK をクリックする。





5

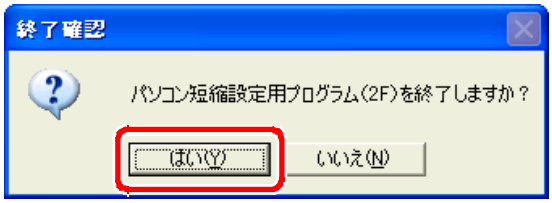
『メイン画面』に戻る。
作業を終了する場合は 終了 をクリックする。



6

『終了確認画面』で はい(Y) をクリックする。

※ いいえ(N) をクリックすると『メイン画面』に戻ります。



ご注意

★ダウンロード中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。 通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。 デフラグ中にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★ダウンロード中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。 通信エラーとなった場合は、ダウンロードをやり直してください。 また、電話機側で電話帳の登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

●エラーとなった場合は…

エラー画面(「ポートステータスチェックエラー発生」や「受信タイムアウトエラー発生」)の OK をクリックし、『メイン画面』(P2-3参照)まで戻ってからアップロードをやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。 他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。